

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-164239

(P2003-164239A)

(43) 公開日 平成15年6月10日 (2003.6.10)

(51) Int. Cl.<sup>7</sup>

A 0 1 K 85/10  
85/00

識別記号

F I

A 0 1 K 85/00

キーワード (参考)

D 2 B 1 0 7  
C

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願2001-365152 (P2001-365152)

(22) 出願日 平成13年11月29日 (2001.11.29)

(71) 出願人 595042070

株式会社ズイール

神奈川県伊勢原市高森3丁目12番18号

(72) 発明者 柏木 重孝

神奈川県伊勢原市高森3丁目14番26号 株式会社ズイール内

(74) 代理人 100066267

弁理士 白浜 吉治 (外1名)

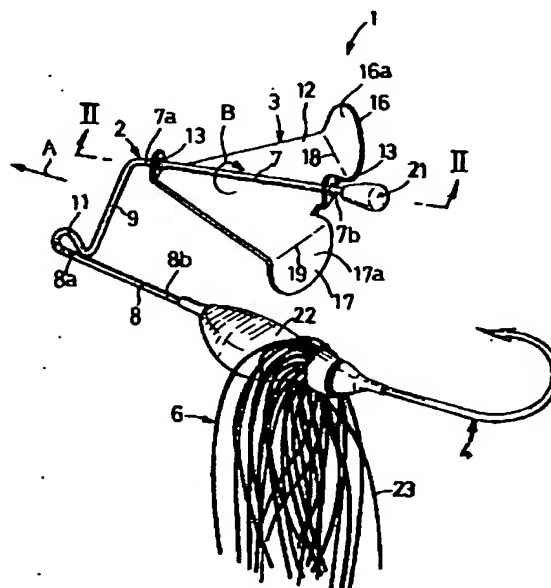
Fターム (参考) 2B107 BA34 BA44 BA49

(54) 【発明の名称】 ルアー

(57) 【要約】

【課題】 ワイヤに取り付けられたブレードの交換が容易なルアー。

【解決手段】 ルアー1がワイヤ2に回転可能に取り付けられたブレード3を有する。ワイヤ2の先端部分にねじ26が形成され、ブレード3がワイヤ2から抜け落ちることを防止するためのストッパー部材21がねじ26に、取り外し可能に螺合する。



Best Available Copy

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ワイヤとブレードとを有し、前記ワイヤの少なくとも一部に直状部が形成され、前記直状部が前記ブレードに形成された透孔に挿通されて前記ブレードが前記直状部の周り方向へ回転可能に形成されているルアーにおいて、

前記ワイヤは、前記透孔から延出する前記直状部の先端部分にねじが形成され、前記ねじに前記透孔よりも外径が大きくて前記ブレードが前記直状部から抜け落ちることを阻止可能なストッパー部材が取外し可能に螺合していることを特徴とする前記ルアー。

【請求項2】 前記ブレードには、前記直状部に平行する平坦部と、前記平坦部における前記直状部を挟む両側部分それぞれに前記平坦部に対して互いに逆方向へ立ち上がり前記直状部と斜めに交差する方向へ延びる起立部とが形成されており、前記ルアーに取付けられたラインの操作によって前記ルアーを泳がせると前記ブレードを前記直状部周りの所要方向へ回転させることができ、前記ストッパー部材は、前記ブレードが回転する前記所要方向と同じ方向へ回転して前記ワイヤとの螺合が進むように形成されている請求項1記載のルアー。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、魚釣りに使用するルアーに関する。

## 【0002】

【従来の技術】従来、針金等からなるワイヤの直状部に、この直状部の周り方向へ回転するようにブレードを取付けたルアーは周知である。ルアーに取付けられたラインの操作によってこのルアーを泳がせると、水の流を受けたブレードが一方方向へ回転する。その回転によって、ルアーを水面近くで泳がせて魚の関心を惹くことができる。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】前記ルアーでは、ブレードが直状部の先端部分から抜け落ちることがないように、その先端部分が直角に折り曲げられている。直状部を形成しているワイヤをそのように直角に曲げることは簡単であり、ルアーを安価に提供することにおいて有効な手段であるが、一方ではブレードを外して新しいものに交換することが難しいという問題を生じる。仮に、ワイヤを直状に戻し、さらに再び直角に曲げることができたとしても、それにはそれなりの工具を用意しなければならず、またワイヤを元のようにきちんと折り曲げられた状態に戻すことが難しいとか、ワイヤは折り曲げを繰り返すと折れ易くなるという問題もある。

【0004】そこで、この発明では、ブレードがワイヤに取付けられて、ワイヤの周り方向へ回転する前記周知のルアーにおいて、ブレードの交換が容易となるように改良を施すことを課題にしている。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】前記課題解決のために、この発明が対象とするのは、ワイヤとブレードとを有し、前記ワイヤの少なくとも一部に直状部が形成され、前記直状部が前記ブレードに形成された透孔に挿通されて前記ブレードが前記直状部の周り方向へ回転可能に形成されているルアーである。

【0006】かかるルアーにおいて、この発明が特徴とするところは、前記ワイヤが、前記透孔から延出する前記直状部の先端部分にねじを形成され、前記ねじに前記透孔よりも外径が大きくて前記ブレードが前記直状部から抜け落ちることを阻止可能なストッパー部材が取外し可能に螺合していること、にある。

【0007】この発明の好ましい実施態様において、前記ブレードには、前記直状部に平行する平坦部と、前記平坦部における前記直状部を挟む両側部分それぞれに前記平坦部に対して互いに逆方向へ立ち上がり前記直状部と斜めに交差する方向へ延びる起立部とが形成されており、前記ルアーに取付けられたラインの操作によって前記ルアーを泳がせると前記ブレードを前記直状部周りの所要方向へ回転させることができ、前記ストッパー部材は、前記ブレードが回転する前記所要方向と同じ方向へ回転して前記ワイヤとの螺合が進むように形成されている。

## 【0008】

【発明の実施の形態】添付の図面を参照し、この発明に係るルアーの詳細を説明すると、以下のとおりである。

【0009】図1に斜視図で示されたルアー1は、図示のようにほぼコの字型または逆コの字型に折曲されたワイヤ2と、ブレード3と、フック4と、ラバースカート6とを有する。

【0010】ワイヤ2は、図において横方向へ延びる第1直状部7と、第2直状部8と、上下方向へ延びてこれら第1、2直状部7、8の先端部分7a、8aにつながる第3直状部9とを有する。第2直状部8と第3直状部9との間には環状のライン取付け部11が形成されている。

【0011】ブレード3は、第1直状部7に平行する平坦部12と、第1直状部7が挿通された一対の透孔13と、第1起立部16と、第2起立部17とを有する。これら第1起立部16と第2起立部17とは、第1直状部7の後端部分7b寄りに位置する平坦部12のうちで、第1直状部7を挟んで第1直状部7の両側それぞれに位置する部分から図の上方と下方とに向かうように、互いに逆方向へ向かって立ち上がっている。透孔13の径は、第1直状部7の径よりも大きく形成されており、ブレード3は第1直状部7の周りを回転可能である。第1、2起立部16、17は、アルミニウムその他の比重の小さい金属の薄板からなるブレード3の一部分を折曲線18、19に沿って折り曲げることにより形成されて

おり、折曲線18、19は、これらを延長すると第1直状部7またはそれを延長した線と斜めに交差する。つまり、第1、2起立部16、17は、第1直状部7またはそれを延長した線と斜めに交差するように延びている。第1直状部7の後端部分7bには、ブレード3が第1直状部7から抜け落ちることを防止するためのストッパー21が取付けられている。フック4は、ラウンドヘッド22を有し、そのラウンドヘッド22の内部では、第3直状部8の後端部分8bがフック4と連結している。ラウンドヘッド22には、多数の糸状部23を有するラバースカート6が取付けられている。

【0012】かかるルアー1は、ライン取付け部11でルアー1につながるライン（図示せず）を操作して矢印A方向へ泳がせると、第1、2起立部16、17の前面16a、17aに作用する水の流れによってブレード3が第1直状部7の周りを矢印B方向へ回転する。

【0013】図2は、図1のII-II線矢視図である。ブレード3の透孔13から後方へ延びる第1直状部7の後端部分7bには、ねじ26が形成されている。その後端部分7bに取付けられているストッパー21には、ねじ26に螺合するねじ27が形成されている。これらねじ26と27とは、ルアー1が泳ぐときにブレード3が回転する矢印B方向と同じ方向へストッパー21が回転すると、ストッパー21が図の右方から左方へ進んでねじが締まるように作られている。それゆえ、ブレード3が矢印B方向への正常な回転をすると、ストッパー21にはこれが締まる方向への力が作用する。ストッパー21の外径は、透孔13の径よりも大きく作られて

いる。

【0014】このように形成されているルアー1では、ストッパー21を矢印Bとは反対の方向へ回すと第1直状部7から外すことができるから、ブレード3を第1直状部7から抜き取って、これを補修したり、新しいブレードと交換したりすることができる。この発明において、ブレード3は、金属の他にプラスチックで作ることも可能である。

【0015】

【発明の効果】この発明に係るルアーでは、ブレードが回転可能に取り付けられているワイヤの先端部分にねじを使ってストッパーを取付けたから、ブレードをワイヤから外したり、ワイヤに取付けたりすることが容易になる。

【図面の簡単な説明】

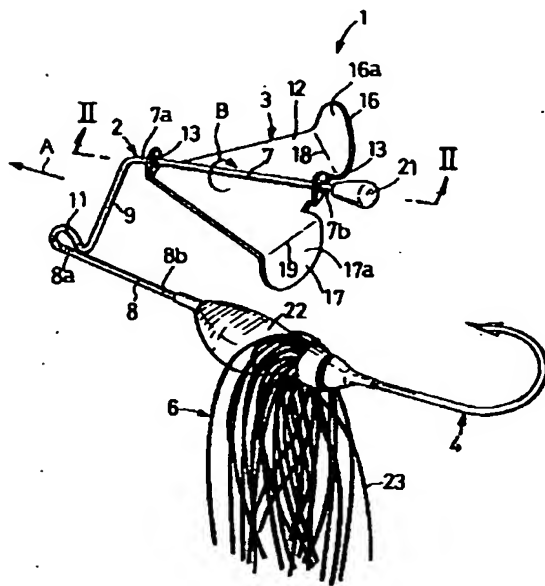
【図1】ルアーの斜視図。

【図2】図1のII-II線断面図。

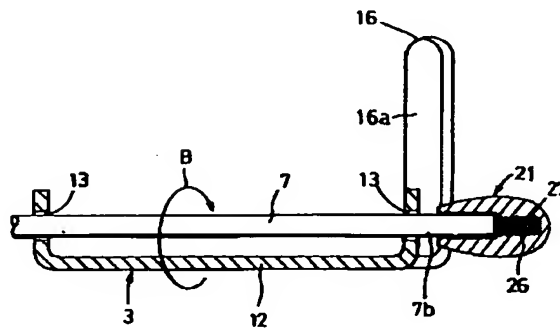
【符号の説明】

- |    |         |
|----|---------|
| 1  | ルアー     |
| 2  | ワイヤ     |
| 3  | ブレード    |
| 12 | 平坦部     |
| 13 | 透孔      |
| 16 | 起立部     |
| 17 | 起立部     |
| 21 | ストッパー部材 |
| 26 | ねじ      |

【図1】



【図2】



PAT-NO: JP02003164239A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2003164239 A  
TITLE: LURE  
PUBN-DATE: June 10, 2003

INVENTOR-INFORMATION:  
NAME  
KASHIWAGI, SHIGETAKA

COUNTRY  
N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:  
NAME  
ZUIILE:KK

COUNTRY  
N/A

APPL-NO: JP2001365152  
APPL-DATE: November 29, 2001

INT-CL (IPC): A01K085/10, A01K085/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a lure in which a blade attached to a wire can easily be exchanged.

SOLUTION: This lure 1 has the blade 3 rotatably attached to the wire 2. A screw 26 is formed at the tip portion of the wire 2, and a stopper member 21 for preventing the blade 3 from slipping off from the wire 2 is detachably and threadedly engaged with a screw 26.

COPYRIGHT: (C)2003,JPO

DERWENT-ACC-NO: 2003-476350

DERWENT-WEEK: 200345

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Lure for fishing, has stopper that is coupled  
to screw thread formed at wire end in order to prevent  
dropping of blade attached to wire

PATENT-ASSIGNEE: ZUIRU KK[ZUIRN]

PRIORITY-DATA: 2001JP-0365152 (November 29, 2001)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE
PAGES MAIN-IPC		
JP 2003164239 A	June 10, 2003	N/A
003 A01K 085/10		

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE		
JP2003164239A	N/A	2001JP-0365152
November 29, 2001		

INT-CL (IPC): A01K085/00, A01K085/10

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2003164239A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - A wire (2) is inserted in the through holes (13) of a rotary blade  
(3) A stopper (21), which has an outer diameter that is larger than the diameter of the through hole, is coupled to a screw thread formed at the end of the wire in order to prevent dropping of blade from the wire edge.

USE - For fishing.

ADVANTAGE - Simplifies attachment and detachment of blade from wire.  
Prevents dropping of blade from wire.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the isometric view of the lure.

Wire 2

Blade 3

Through holes 13

Stopper 21

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/2

TITLE-TERMS: LURE FISH STOPPER COUPLE SCREW THREAD FORMING WIRE END ORDER

PREVENT DROP BLADE ATTACH WIRE

DERWENT-CLASS: P14

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2003-379449

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☒ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER: \_\_\_\_\_**

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**